「当院で胃がんに対して施行した腹腔鏡下噴門側胃切除後、観音開き法再建の有用性を後方視的に検討」へのご協力のお願い

代表者　　所属：津山中央病院　外科　職名：部長　氏名：　伊藤　雅典
共同担当者　　所属：津山中央病院　外科　職名：部長　氏名：　西﨑　正彦

1.　目的

噴門側胃切除術は上部早期胃癌に対する標準的な手術術式として胃癌治療ガイドライン（第 6 版）に明記されている。しかし再建方法については一定の見解が得られておらず、食道残胃吻合法、空腸間置法、double tract 法が記載されており、実際に採用している方法は施設により異なるのが現状である。当院では 1998 年に上川が報告した観音開き法再建を 2012 年より導入しており、短期長期成績を後方視的に検討する。

2.　対象と方法

2012 年以降の当院で施行した噴門側胃切除、観音開き法再建の患者データを使用して術後の逆流性食道炎や狭窄の有無、QOL や栄養状態などを後方視的に評価。また同時期の胃全摘症例と比べ栄養状態の違いなど検討し観音開き法再建の有用性やこれまでの報告との差異を検討する。

3.　研究期間

倫理委員会承認後　～　2024 年 3 月 31 日

4.　調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させて頂きます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
・治療内容、有害事象など

5.　情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院　病院長　　林　同輔
連絡先：電話 0868-21-8111（担当：外科　伊藤　雅典）